

## 日本マレーシア学会(JAMS) 地区例会

これは過去の学会活動の記録です。現在 JAMS 例会はオンラインで行われており、地区ごとの例会としては行われていません。

### JAMS 九州地区

JAMS 九州地区は常設の地区例会ではありませんが、幹事となる会員の自発的な企画実施により例会活動を行っています。

### 過去の研究会

#### ■2005 年度

- ・2005 年 7 月 23 日、九州大学経済学部

報告(1):井口由布(立命館アジア太平洋大学)

「マラヤ大学設立計画をめぐる考察——技術、知識、植民地主義」

報告(2):松永典子(九州大学)

「「北ボルネオ」と日本人の関係史に注がれる視点——記憶の再生産の方向性をめぐって」

幹事:田村慶子

#### ■2002 年度

- ・2003 年 2 月 15～17 日、名瀬市立奄美博物館会議室

○1日目

報告:松永典子(立命館アジア太平洋大学)

「日本軍政下の北ボルネオにおける教育施策」

報告:田村慶子(北九州市立大学)

「マレーシアの NGO とジェンダーの主流化」

報告:田中善紀(立命館アジア太平洋大学)

「模索する市民社会——シンガポールにおける「市民社会」の現状とその行方」

報告:常田守(奄美の自然写真家)

「奄美の自然」

報告:山下文武(奄美史研究家)

「奄美の歴史と文化」

報告: 桑原季雄(鹿児島大学)

「マレーのパントゥンと奄美の島唄」

○2日目

報告: 嘉原カヲリ(奄美民話の会)

「シマグチで語る奄美の民話」

報告: 青山亨(鹿児島大学)

「バリの爆破事件をめぐるインドネシア・イスラームの潮流」

報告: 坪内良博(甲南女子大学)

「権力配分と兄弟関係——マレー世界と日本の比較」

報告: 水島司(東京大学)

「銀がつなぐアジア海域世界」

幹事: 田村慶子・清水一史

・2002年4月20日、別府大学

報告: 松永典子『日本軍政下のマラヤにおける日本語教育』(風間書房、2002年)の書評

評者: 石井由香(立命館アジア太平洋大学)、清家久美(同)、田村慶子(北九州市立大学)

司会: 伊野憲治(北九州市立大学)

研究会報告: 書評『日本軍政下のマラヤにおける日本語教育』(田村慶子) (会報第23号)